



Client Matter Code と Forced Authorization Code の一括処理

Forced Authorization Code (FAC) と Client Matter Code (CMC) を使用すると、コールへのアクセスとアカウントリングを管理できます。CMC は、課金可能なクライアントに対するコール アカウントリングと課金を支援し、FAC は特定のユーザが発信できるコールのタイプを規定します。

CMC を使用すると、コールが特定のクライアント マターに関連していることを示すコードを入力するように強制されます。CMC は、コール アカウントリングや課金を目的として、顧客や学生、またはその他の個人に対して割り当てることができます。FAC 機能を使用すると、コールを完了する前に有効な認証コードを入力するように強制されます。

CMC 機能と FAC 機能を使用するには、ルート パターンを変更し、各ルート パターンに対する FAC や CMC の有効化または無効化を反映するようにダイヤル プラン ドキュメントを更新する必要があります。

この章は、次の項で構成されています。

- [CMC および FAC の設定チェックリスト \(P.47-2\)](#)
- [BAT の重要な考慮事項 \(P.47-3\)](#)
- [BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 \(P.47-4\)](#)
- [テキスト エディタを使用した Client Matter Code および Forced Authorization Code の CSV データ ファイルの作成 \(P.47-5\)](#)
- [既存の CMC 用または FAC 用の CSV ファイルの編集 \(P.47-5\)](#)
- [コードの設定の削除 \(P.48-2\)](#)
- [CMC 用および FAC 用の CSV ファイルの設定値 \(P.47-6\)](#)
- [BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新 \(P.47-7\)](#)

CMC および FAC の設定チェックリスト

表 47-1 は、Cisco CallManager Bulk Administration (BAT) を使用して CMC と FAC を実装する手順を示しています。関連する手順については、P.47-8 の「関連項目」を参照してください。

表 47-1 Cisco CMC および FAC の設定チェックリスト

設定手順	関連する手順とトピック	
ステップ 1	BAT に関する重要情報、および CMC 機能と FAC 機能の概要を確認します。	<ul style="list-style-type: none"> BAT の重要な考慮事項 (P.47-3) Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド
ステップ 2	CMC 用または FAC 用の CSV ファイルを作成し、CMC と FAC の設定情報を入力します。	<ul style="list-style-type: none"> BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 (P.47-4) テキスト エディタを使用した Client Matter Code および Forced Authorization Code の CSV データ ファイルの作成 (P.47-5) CMC 用および FAC 用の CSV ファイルの設定値 (P.47-6)
ステップ 3	Cisco CallManager データベースを更新するために CSV ファイルを BAT に挿入します。	<ul style="list-style-type: none"> BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新 (P.47-7) Cisco CallManager データベースを更新する場合の BAT の設定 (P.47-8)
ステップ 4	Cisco CallManager Administration でルート パターンを追加または更新して、FAC または CMC を有効にします。	<ul style="list-style-type: none"> Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド
ステップ 5	ダイヤル プラン ドキュメントを更新するか、BAT CSV ファイルのプリントアウトをダイヤル プラン ドキュメントとともに保管します。	ダイヤル プラン ドキュメントを参照
ステップ 6	ユーザに対して、コードなどの必要な情報をすべて提供し、機能の内容を説明します。	Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド

BAT の重要な考慮事項

BAT を使用して CMC または FAC を設定する前に、次の情報を確認します。

- CMC と FAC で別々の CSV ファイルを作成します。1 つの CSV ファイルにこの 2 つの機能を混在させないでください。
- CMC または FAC の設定を初めて追加する場合は、BAT.xlt を使用して CSV ファイルを作成するか、カスタムのテキストベース CSV ファイルを作成することができます。
- CMC または FAC の設定を更新、削除、または追加する（初めての追加ではない）場合は、既存の CSV ファイルを編集するか、カスタムのテキストベース CSV ファイルを作成することができます。
- ファイルおよびスプレッドシートでは、1 行に 2 つ以上のコード（およびそれに対応する設定値）を入力しないでください。各コード（およびそれに対応する設定値）に 1 行を指定します。たとえば、FAC 用のコードを入力する場合は、次の形式になります。

(Authorization Code, Authorization Code Name, Authorization Level)

1234,John Smith,20

1235,Lisa Mendez,10

5551,Debbie Dunn,30

- ファイルから情報を削除して情報を空白にしても、その情報は Cisco CallManager データベースから削除されません。つまり、空白の値ではデータベース内の既存の値は上書きされません。データベース内の既存の値は、値を更新すると上書きされます。
- 該当する CSV ファイルを、Cisco CallManager サーバの最初のノードにアップロードしたことを確認します。詳細については、[P.2-5 の「ファイルのアップロード」](#)を参照してください。
- CSV ファイルを作成または変更する際には、[P.47-7 の「BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新」](#)で説明されているように、必ずその CSV ファイルを BAT に挿入する必要があります。

BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成

BAT.xlt を使用して CMC 用または FAC 用の CSV ファイルを作成するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** BAT.xlt ファイルは Cisco CallManager サーバの最初のノード上にありますが、通常、このサーバには Microsoft Excel がインストールされていません。その場合は、最初のノードからこのファイルをコピーして、Microsoft Excel がインストールされているローカルマシンに移動する必要があります。
- ステップ 2** サーバから **BAT.xlt** ファイルをダウンロードします。Microsoft Excel がインストールされているローカルマシンについては、[P.2-4](#) の「[ファイルのダウンロード](#)」を参照してください。
- ステップ 3** Microsoft Excel で **BAT.xlt** を開きます。プロンプトが表示されたら、**Enable Macros** をクリックします。



ヒント 個別に 2 つの CSV ファイル (CMC 用と FAC 用の CSV ファイル) を作成する必要があることに注意してください。

- ステップ 4** 次のタブのいずれかをクリックします。
- **Insert CMC** : CMC 用の CSV ファイルを作成する場合
 - **Insert FAC** : FAC 用の CSV ファイルを作成する場合
- ステップ 5** [表 47-2](#) に従って、各カラムに CMC または FAC の設定値を入力します。
- ステップ 6** [ステップ 5](#) を繰り返し、すべてのコードを入力します。
- ステップ 7** Excel スプレッドシート形式を CSV ファイルに変換するために、**Export to BAT Format** をクリックします。
- CSV ファイルが自動的にローカルマシンの C:\XlsDatafiles に保存されます。別のロケーションを選択するには、**Browse** をクリックします。
- ステップ 8** CSV ファイルを Cisco CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、[P.2-5](#) の「[ファイルのアップロード](#)」を参照してください。
- ステップ 9** CSV ファイルを BAT に追加します。CSV ファイルを BAT に挿入する方法については、[P.47-7](#) の「[BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新](#)」を参照してください。
-

その他の項目

詳細については、[P.47-8](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

テキスト エディタを使用した Client Matter Code および Forced Authorization Code の CSV データ ファイルの作成

値がカンマで区切られた ASCII テキストを複数行使用して、カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成することができます。カンマ区切り値 (CSV) ファイルでは、テキスト情報は表形式で与えられます。Client Matter Code と Forced Authorization Code のテキストベースの CSV データ ファイルの詳細については、[P.A-21 の「Client Matter Code と Forced Authorization Code のテキストベースのカスタム CSV ファイルの作成」](#)を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.47-8 の「関連項目」](#)を参照してください。

既存の CMC 用または FAC 用の CSV ファイルの編集

既存のコードを更新する場合は、Notepad で既存の CSV ファイルを手動で更新するか、または Notepad で新規のファイルを作成します。

次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** 以前にコードを挿入した既存の CSV ファイルを編集するには、Cisco CallManager サーバの最初のノードから CSV ファイルをダウンロードします。詳細については、[P.2-5 の「ファイルのアップロード」](#)を参照してください。
- ステップ 2** Notepad で既存の CSV ファイルを開いて編集します。[表 47-2](#) のテキストベースの表現を使用して、既存の設定の削除、新規コードの追加、または既存の設定の更新を行います。

CMC 用 CSV ファイルを更新する場合は、たとえば、5555,Acme Toys のように入力することができます。ここで、5555 は必須の Client Matter Code、Acme Toys は Description にそれぞれ相当します。

FAC 用 CSV ファイルを更新する場合は、たとえば、1234,John Smith,20 のように入力することができます。ここで、1234 は Forced Authorization Code、John Smith は Authorization Code Name、20 は Authorization Level にそれぞれ相当します。



注意

新規コードの追加やコードの更新を行う場合は、必要な情報をすべて入力してください。既存のレコードでは、任意の部分を変更できますが、認証に必要な FAC や CMC などは必ず含めなければなりません。情報を削除したりブランクにしたりしても、その情報はデータベースから削除されません。データベース内の既存の値は、ブランクの値では上書きされませんが、前述の例にある値を Acme Toys, Inc. や John L. Smith などに更新すると上書きされます。

- ステップ 3** CSV ファイルを Cisco CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、[P.2-5 の「ファイルのアップロード」](#)を参照してください。
- ステップ 4** CSV ファイルを BAT に追加します。CSV ファイルを BAT に挿入する方法については、[P.47-7 の「BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新」](#)を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.47-8 の「関連項目」を参照してください。

CMC 用および FAC 用の CSV ファイルの設定値

次の各項と表 47-2 を併せて参照してください。

- BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 (P.47-4)
- テキスト エディタを使用した Client Matter Code および Forced Authorization Code の CSV データファイルの作成 (P.47-5)
- 既存の CMC 用または FAC 用の CSV ファイルの編集 (P.47-5)
- コードの設定の削除 (P.48-2)

関連する手順については、P.47-8 の「関連項目」を参照してください。

表 47-2 CMC および FAC の設定値

設定 / カラム	説明
For CMC CSV file (CMC 用 CSV ファイル)	
Client Matter Code	ユーザがコールを発信するときに入力する 16 桁以内の固有のコードを入力します。CMC は、このコードを使用するコールの CDR に表示されます。
Description	50 文字以内の名前を入力します。このオプションのフィールドは、クライアントコードとクライアントの関連付けに役立ちます。
For FAC CSV File (FAC 用 CSV ファイル)	
Authorization Code	16 桁以内の固有の認証コードを入力します。ユーザは FAC 対応のルートパターンでコールを発信するときこのコードを入力します。
Authorization Code Name	50 文字以内の固有の名前を入力します。この認証コード名は、認証コードを特定のユーザまたはユーザのグループに結び付けます。この名前は、このコードを使用するコールの CDR に表示されます。
	 <p>ヒント システム内のすべてのユーザに認証コードを割り当てる場合は、コード名にユーザの識別情報を含めるようにしてください。この識別情報には、ユーザ名やその他の機密性のない固有の識別情報（たとえば、電子メールのエイリアス、社員番号、学生番号）などを使用してください。認証コード名は CDR に書き込まれ、安全でないため、社会保障番号などの識別情報は使用しないでください。</p>
Authorization Level	0 ～ 255 の範囲内の 3 桁の認証レベルを入力します (デフォルトは 0)。認証コードに割り当てるレベルによって、ユーザが FAC 対応のルートパターンでコールをルーティングできるかどうかが決まります。コールを正常にルーティングするには、ユーザの認証レベルがそのコールのルートパターンに指定された認証レベル以上である必要があります。

BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新

Cisco CallManager データベースを更新するには、BAT に CMC 用または FAC 用の CSV ファイルを挿入する必要があります。データベースを更新するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco CallManager を更新する前に、CMC 用または FAC 用の CSV ファイルを作成または編集する必要があります。

手順

ステップ 1 CMC 用と FAC 用のどちらの CSV ファイルを使用したかに応じて、Cisco CallManager Administration で次のいずれかのオプションを選択します。

- CMC の場合：**Bulk Administration > Client Matter Codes > Insert Client Matter Codes**
- FAC の場合：**Bulk Administration > Forced Authorization Codes > Insert Forced Authorization Codes**

ステップ 2 **File Name** ドロップダウン リスト ボックスで、更新されたコードが含まれる CSV ファイルを選択します。



ヒント 挿入するファイルの内容を表示するには、**View File** をクリックします。

ステップ 3 既存のコードのリストを更新した場合は、[表 47-3](#) で説明されているように、**Override the existing configuration** チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 5 Run Immediately オプション ボタンをクリックしてレポートを即座に生成するか、Run Later をクリックして後でレポートを生成します。

ステップ 6 **Submit** をクリックして、FAC と CMC を挿入するジョブを作成します。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.47-8 の「関連項目」](#) を参照してください。

Cisco CallManager データベースを更新する場合の BAT の設定

P.47-7 の「BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新」と表 47-3 を併せて参照してください。関連する手順については、P.47-8 の「関連項目」を参照してください。

表 47-3 CSV ファイルを挿入する場合の BAT の設定

BAT の設定	説明
File Name	ドロップダウンリスト ボックスから、挿入する CMC ファイルまたは FAC ファイルを選択します。
Override the existing configuration	このチェックボックスは、既存の設定のコードを更新する場合に適用されます。 このチェックボックスをオンにすると、既存の認証コード名 (FAC)、認証レベル (FAC)、または説明 (CMC) が、挿入するファイルに含まれている情報で上書きされます (既存の認証コードと CMC は変更されません)。このチェックボックスをオンにしないと、該当の認証コードまたは CMC がすでに存在することを示すエラーがログ ファイルに書き込まれ、更新は行われません。

関連項目

- CMC および FAC の設定チェックリスト (P.47-2)
- BAT の重要な考慮事項 (P.47-3)
- BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 (P.47-4)
- テキスト エディタを使用した Client Matter Code および Forced Authorization Code の CSV データ ファイルの作成 (P.47-5)
- 既存の CMC 用または FAC 用の CSV ファイルの編集 (P.47-5)
- コードの設定の削除 (P.48-2)
- CMC 用および FAC 用の CSV ファイルの設定値 (P.47-6)
- BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新 (P.47-7)
- Cisco CallManager データベースを更新する場合の BAT の設定 (P.47-8)
- Client Matter Code と Forced Authorization Code のテキストベースのカスタム CSV ファイルの作成 (P.A-21)